

とうもろこし



主な加害種:カラス、タヌキ、ハクビシン、アライグマ



加害種:カラス

カラスはくちばしを使って、穂の先端から皮を引き裂 くようにむいて、実を食べる。穂が根元で折れること はあるが茎が傾くことはほとんどない。

撮影:百瀬浩



加害種:タヌキ

タヌキの食痕では、茎が倒され、食べ散らかしていた り、泥がついていたりすることが多い。畑では下側の 土がついた部分は残すことが多い。実ごと持ち去る こともある。

撮影:古谷益朗



加害種:ハクビシン

ハクビシンの食痕では口で噛みとったような痕が残 る。茎が斜めになることも多いが、倒れることは少な 11

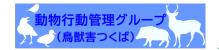
撮影:百瀬浩



加害種:アライグマ

アライグマは穂を持って食べるので、全周きれいに 食べ、茎が倒れることが多い。実ごと持ち去ることも ある。

撮影:古谷益朗



鳥獸害痕跡図鑑



ハクビシン、タヌキ、カラスによる複合被害と考えられる(撮影:古谷益朗)。



ハクビシンによる食害では茎を斜めに倒して 実を食べることが多い(撮影:古谷益朗)。



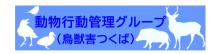






カラスによる実の食害。カラスの食害は圃場の周縁部に多い(撮影:山口)。





鳥獣害痕跡図鑑





とうもろこしの出芽時のカラスによる食害。苗を引き抜いて種(コーン)部分だけを食べる (撮影:吉田)。



加害種:ニホンジカ

子実等の食害のほか、倒伏被害も生じる。

提供:長野県